

子ども・子育て新制度

来年4月からどうなる

国で、子ども・子育て支援法が平成24年8月に成立。それに伴って認定こども園法や児童福祉法、私立学校法なども改正され成立。

保育の必要性と必要量の認定調整

問 調整など事務の量が増えるのでは。

答 保育の認定を全部するのでもくなる。教育委員会とも協議する。

問 1ヶ月64時間とするより、おおむね50時間以上などとした方がよいのでは。

答 現行の運用通りなので、支障は出ない。

〈反対討論〉

新制度のねらいは、保育の市場化に道を開くこと。町の調整権が縮小される中では、保護者や子どもにとって十分な調整ができるか疑問である。
(根岸)



学童保育 みんなでおやつ

た運営を規定した。

問 施設のあつせん、調整及び要請に対する協力とは。

答 利用者のニーズに応じて、施設は応じなければならぬ規定である。

問 保育や教育方針に沿って、自由に教材費等買ってもらうことができるようになるが。

答 保育料の外に別途徴収できることになる。

〈反対討論〉

保護者や子供の意思が尊重されない場合が起きる。こども園では、1日のうちに何度も部屋が換わる。保護者の負担が増える。
(根岸)

小規模保育園などの設備及び運営基準

問 給食室の義務がなくなるのか。

答 そのために、例外規定が設けられた。

問 保育士の資格など緩和されているが。

答 国としては、たくさん受け入れられる体制を整備することである。

意見書を県へ提出しました！ 石井議員が提案し、全会一致で可決

県道第343号線(岩殿・岩井線)の拡幅改修工事を求める意見書

比企郡鳩山町地内における県道第343号線(岩殿・岩井線)の大字石坂地内坂下交差点付近から、大字赤沼地内都市計画道路「入西・赤沼線」との交差点付近までの区間は、(中略)狭小のうえ歩道も無く、なおかつ急カーブで見通しも悪く通行車両はもとより、歩行者にとっても非常に危険な箇所です。過去には多くの交通事故や痛ましい死亡交通事故も発生しています。地元住民からの道路改修要望は以前から繰り返して出されています。

このような現状の中、県におかれましては今年度、県単独での事業が可能か調査のための測量委託業務が予定されているとのことですが、地域の窮状をご推察いただき、越辺川改修工事の進捗に拘わらず、早急に県道第343号線当該箇所の拡幅改修工事及び、これに付随する一級河川鳩川に架かる橋梁重郎橋の拡幅改修工事を行うよう強く求めます。

平成26年9月12日

埼玉県比企郡鳩山町議会
(一部省略)

問 町内で該当する施設はあるか。

答 事業所内施設が2ヶ所ある。

〈反対討論〉

職員の資格や給食室の規定を緩和していること。年齢差などを考慮した保育スペースなどが十分確保できるか疑問である。
(根岸)

学童保育の設備及び運営基準

問 公的な設置義務はないのに、事業者に設備や運営の向上を義務付けるのか。

答 実施の時に届出が必要になるので、公的な責任がある。

問 学童保育に児童館や子ども教室事業を押し付けているのでは。

答 保護者、指導員等が示したものである。

〈反対討論〉

子ども・子育て新制度からは町の実施義務が条文化されるべきだ。

しかし、町長は設備及び運営の向上を勧告できるなどがある。また、毎日同じ子どもの生活の場という文言が欠けている。
(根岸)

一般会計補正予算 教育委員会の 改革準備費計上

問 給食センターの基本設計プロポーザル審査委員報償とは。

答 学校給食の新たなあり方調査検討委員会から提言いただき、要望を取り込んだ設計を指名業者から提案いただき、審査するものである。

問 ふれあいセンターの空調機工事では各部屋ごとに温度調整ができるか。

答 各部屋ごとにスイッチがあり、管理できる。
問 胃がん予防のピロリ菌感染検査の状況は。